

歳入のうちわけ

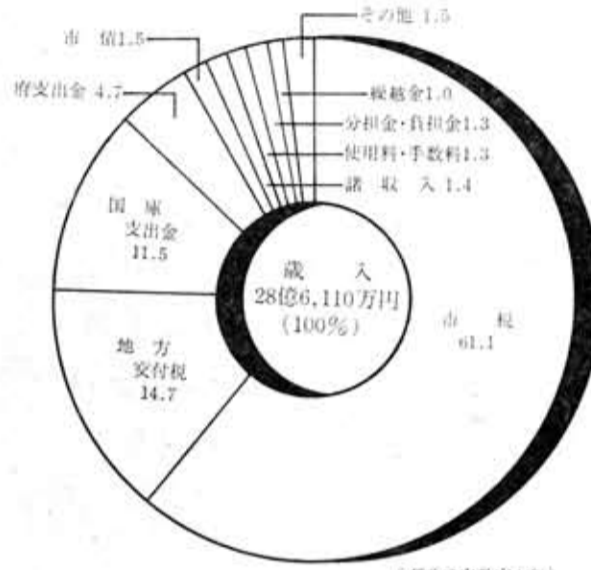
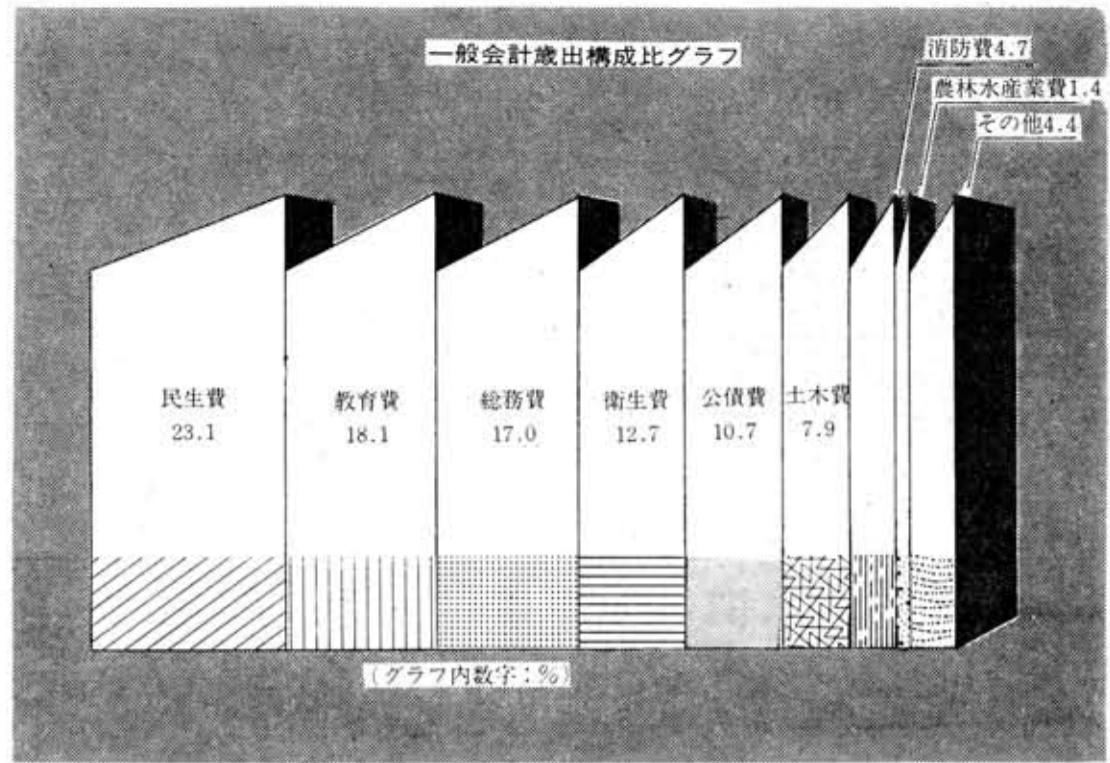
これらの事業をめぐり、苦しい見通しです。そのほか、国庫支出金三
まかなう市の収入 地方交付税では、四億二億二千八百八十八万円、府支
源(台所)をみて 千万円を組みました。前年 出金一億三千四百六十六万
みましよう。 度当初予算とくらべ、一億 使用料・手数料三千五百六
はじめに、市税 七千万円、六八・〇パーセント、分担金・負担金
では、十七億四千の増となりました。こ 三千六百七十七万円など、総額
七百二十八万円を、前年度実績が、実質 二十八億六千四百十万円を
組みました。前年 四億四千四百三十三万円です。

度当初
予算と
くらべ
三億九
千九百
五十六万円、二九・ ったため、ことしも、ほほ の苦しい台所ですが、健全
六パーセントの増 同額分を組んでいます。 財政の維持にためいき
となりました。 市債(事業を行うときの ます。また、超過負担など
ことしの税収は、(借金)では、四千三百十 万の解消をめざし、少しでも
必要抑制策の影 円を組みました。これは、 市政に負担のかからない
響、所得税・個人 ことしが骨格予算であり、 よう、国に対して、超過負
市民税の減税など 必要抑制策に対するため 担解消を働きかけていきま
大幅な増収は見込 ます。

苦しい市の台所

超過負担解消を要望

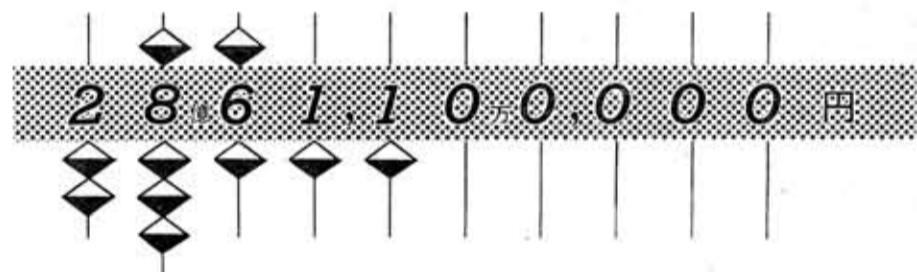
ことし
の市の台
所は、前
年度に引
き続いて



骨格を編成

ことしの

一般会計
予算総額



老人・乳幼児を守る

民生費に六億六千万円

児童福祉では、市立六保 五十年から学校活動も始 万円を、生活保護費の扶助
育所の運営管理費三億二千 万円、市負担分として、三 費では九千三百四十四万円を組
百八十八万円、私立保育園 百万円を組みました。
の委託費千七百四十四万円を組 老人福祉では、国・府制
み、保育内容を充実しま 度の老人医療の無料化、老
す。また、障害児保育です 人クラブの助成、ねたきり
の勤労者住宅資金融資制
が、いままでも二保育所で行 老人家庭奉仕員事業、市の
っていましたが、今年度か 老人福祉手当などの充実を
ら第一保育所を除いた五保 進めるため、七千九百一
育所で実施します。 万円を組みました。
知恵おくれ児童に対する 身体障害者・精神障害者 に拡大し、制度の充実を努
組合立ボニーの学校では、 対策費として、六百二十九 めます。

清潔で健康なまちに

衛生費に三億六千万円

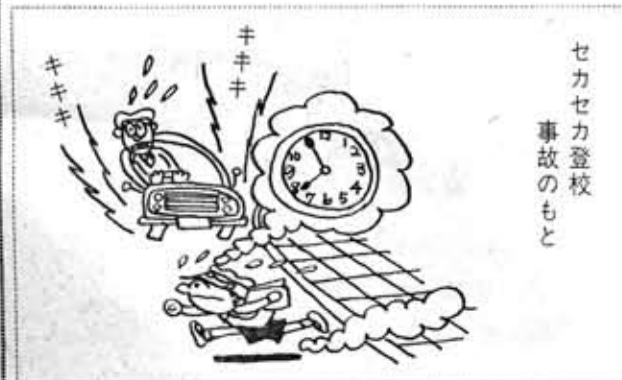
衛生費では、三億六千三 母と子の健康管理では、保 二台を買い換え、増加する
百八十三万円を組みました 健の増員により、乳幼児 ゴミ対策に備えます。
前年度当初予算とくらべ 相談、母親教室、家庭訪問 また、生活周辺の環境衛
一億千三百七十四万円、四 指導などの内容充実をはか 生では、清掃パトロールの
五・五パーセントの増とな るとともに、献血運動も強 強化、衛生モデル地区の育
成指導、河川の美化、大掃
化していきます。

清潔なまちづくり予算と 除菌剤の補助などに取り組
ましては、二億八千七百二十 みます。
市民の健康を守る保健予 万円を組みました。
防では、千八百六十九万円 清掃では、大型ゴミの収 に対処するため、監視・観
を組み、予防接種、成人病 集処理を前年度に引き続き 測・周知体制の強化に努め
検診の無料化を進める一方 実施するほか、ゴミ収集車 ます。

予算・財政は
家計簿と同じ

わたしたちの家庭には、生活の ための家計があり、また会社には 税金やタバコ・酒の専売益金、国
会計があるように、国や地方公共 債を発行したりして集めます。
団体(都道府県や市町村)には、 市の場合も、みなさんの税金が
予算というものがああります。この 主体となり、国や府からの補助
予算を中心とした国や地方公共団 金、使用料や手数料、財産からの
体の活動を、「財政」と 収入、その他の収入などによっ
も呼んでいます。 て、まかなって
国・地方公共 います。
団体は、わたし 国や地方公共団
たち個人の力、 体は、一方で費
活動にまかせて 用を払い、他方でその財源を集め
はできない仕事をするために、組 用を「財政」といって集め
織されています。たとえば、教育 る仕事を「家計」といって集め
の振興、道路、上下水道の普及な 「予算」は、こうして集められ
どの仕事です。これらの仕事は、 たお金を、いろいろ考えながら配
国や府、市町村とが分担し行いま 分し、各事業を有効に実施してい
すが、この公共的な仕事を行うた ためのしくみで、各家庭の「家
めには、たくさんのお金がかかり 計簿」と同じ意味で、大切なこと
です。

“新入学児童を交通事故から守ろう”



4月から新学期がスタートしました。と同時に、新
入学した児童も、登下校の列に新しく仲間入りをしま
した。
そこで気になるのが交通事故。お母さんは、こども
が交通事故にあわないための正しい交通ルールを教え
なければなりません。お母さんが、まず手本をしめし
て、新入学児童を交通事故から守りましょう。



<市交通対策協議会>